



【発行】林野庁 東北森林管理局
津軽白神森林生態系保全センター

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82
TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

初夏のブナ林と十二湖湖沼巡り～新緑や花を楽しむ～

5月28日（土）、深浦町内の十二湖において、深浦町との共催により、児童3名を含む11名で第1回森林教室を実施しました。十二湖での開催は新型コロナウイルスの影響で実に3年ぶり、感染対策を徹底しながらの開催となりました。

今年度から深浦町役場から2名のガイドさんを派遣していただき、十二湖の見所をたっぷり紹介していただきながらの湖沼巡りとなりました。

出発前、まずは森の物産館キョロロ駐車場において開会式を行い、センター所長の高木より「自然豊かな森林をはじめ、十二湖畔や日本キャニオンなどの景勝地を見ながら、白神山地の生態系を学び森林浴を堪能してください」と挨拶があり、その後準備体操で体をほぐしてから、ブナ林と湖沼巡りを開始しました。

参加者は2組に分かれ、それぞれガイドさんの案内で、コバルトブルーの「青池」をはじめとした湖沼群、新緑のブナやカエデ、足下に咲き残ったユリ科の小さな花々など白神山地の様々な色合いを楽しみながら散策しました。

十二湖リフレッシュ村で昼食後、さあ午後の部も頑張ろう、と勇んで歩き出しましたが、しばらくして突然の強い雨。。。

ガイドさんたちとも相談し、急遽ルートを変更して王池駐車場へ下りて、第1回森林教室を終了しました。



ガイドさんの説明を聞きながら



十二湖内にあるブナ

参加者の方からは、「午後の予定がキャンセルとなって残念」との声もありましたが、安全第一、「久々に十二湖の自然を堪能した」との声もいただき、何とか無事終了となりました。

今回は生憎の天候によりコース変更もありましたが、ガイドさんの説明で、十二湖の成り立ちや様々な植物のことができて、参加者の皆さんも例年以上に有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。

雨に濡れたせい、帰りのバスでは、だいぶお疲れの方もいましたが、解散時には皆さんと笑顔でお別れすることができました。

最後に。。。当センターでは秋に第2回森林教室を予定しております。次回も多くの方の参加を、職員一同、心よりお待ちしております。（赤澤）



終点を目指して

鱒ヶ沢町緑の募金街頭活動

鱒ヶ沢町緑化推進委員会は、5月13日（金）、鱒ヶ沢町内のスーパーなど5ヶ所で、街頭募金活動を行いました。当日は、鱒ヶ沢町内の西海小学校と舞戸小学校の緑の少年団が、緑化推進委員会のメンバーらとともに、買い物客に協力を呼びかけ、当センターからは所長と津軽署地域統括森林官の2名が活動に参加しました。

緑の街頭募金活動は、コロナ禍のため2年連続で中止し、3年ぶりの実施となりました。当日参加した緑の少年団は、西海小学校の4、5年生32名、舞戸小学校の24名が参加し大きな声で募金を呼びかけていました、

スーパーの前では、小学生が大きな声で募金を呼びかけ、その声に引き寄せられるように、笑顔でたくさんの方が募金に協力していました。

集まった募金は、鱒ヶ沢町内の小中学校の花壇整備や地域の植樹活動などに役立てられます。（高木）



街頭募金の様子

令和4年度第1回白神山地世界遺産巡視員会議（青森県側）を開催

今年度も白神山地世界遺産地域及び周辺部への入山シーズンを迎えるにあたり、白神山地世界自然遺産に携わる白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関や、青森県及び東北森林管理局の委嘱巡視員が一堂に会して、白神山地世界遺産地域巡視員会議を、6月7日（火）に西目屋村中央公民館大研修室で開催しました。

会議開催にあたり、主催者を代表して東北森林管理局香月計画保全部長より挨拶があり、巡視活動の役割、樹木への損傷やマナー違反の状況や、安全に配慮して巡視活動を実施するようお話があったところです。

会議では、白神山地周辺における各機関の事業計画説明に始まり、巡視員の活動、入山マナー向上の協力依頼、合同パトロールの実施計画、ニホンジカ等の情報収集、安全対策などについて説明があり、今年度の取り組み事項を申し合わせしたところです。

特に、近年白神山地周辺においてもニホンジカの生息が確認されており、東北森林管理局より令和3年度にニホンジカのメスが青森県側のセンサーカメラで初めて確認されたことや、環境省西目屋自然保護官事務所より白神山地におけるニホンジカの糞識別調査への協力依頼など、ニホンジカの生息状況を把握するための取り組みについて報告がありました。

白神山地に弘前方面から向かう県道岩崎西目屋弘前線（西目屋村）の津軽白神湖脇の砂子瀬ゲート付近が、土砂崩れで通行止めとなっている影響で砂子瀬ゲート～津軽峠間と、残雪が多い深浦町西岩崎山～津軽峠間の、白神ライン全線が閉鎖されたままですが、道路が開通した際には、入山を待ち望んでいた多くの人達が白神山地を訪れると思います。巡視員は、違法行為の防止と入山者のマナー向上を促進するため巡視活動を実施していますので、ご理解、ご協力のうえ入山マナーを守り、白神山地の豊かな自然を堪能していただければと思います。（高木）



香月計画保全部長の挨拶



環境省西目屋自然保護管からの説明



巡視員会議の様子

白神岳の花

白神岳というと、私には白銀の峰々、ブナの新緑、鮮やかな紅葉というイメージがあったのですが、今回、はじめて初夏（6月上旬）の白神岳を歩いてみて、白神岳は花の山、という一面もあることを知りました。

ツバメオモトやオクエゾサイシン、シラネアオイ等々、多くの花に出会いました。

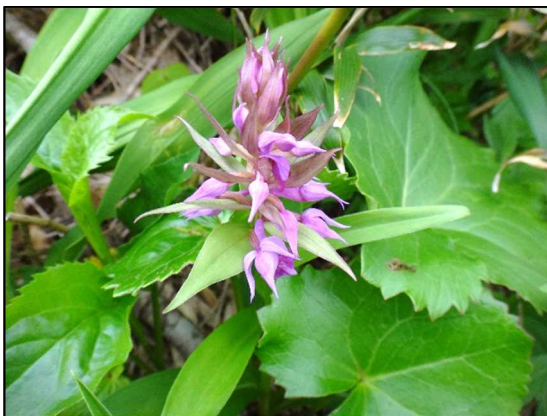


ツバメオモト



シラネアオイ

次はハクサンチドリとチシマフウロです。どちらも紫が愛らしい高嶺の花ですが、白神岳では標高約 1200m の稜線付近で見ることができます。



ハクサンチドリ



チシマフウロ

雪と新緑と紅葉だけでない、花の白神岳、また一つ新しい魅力を見つけました。

(赤澤)

【第1回自然再生活動について重要なお知らせ】

7月16日（土）に開催予定の【第1回自然再生活動～水を育むブナ再生教室～】ですが、中津軽郡西目屋村砂子瀬地区の一部とアクアビレッジANMONから津軽峠までの区間で通行止めとなっており、開催日までに準備等が整わないと判断し、延期といたします。開催の詳細につきましては決定次第「白神の絆」または「ホームページ」でお知らせいたします。



苗木採取の様子